

幼稚園保護者の皆さまへ

2020年4月吉日  
学校法人いづな学園事務局

## 2019年度 学校評価のまとめ

### ～ こどもの森幼稚園 ～

#### 1. 本年度の学校評価への取り組み

いづな学園では、学校を運営する上での課題を明確にし、次年度の重点目標を設定するために、以下のとおり学校評価に取り組んでいます。

#### 学校評価の流れ

2020年 2月	保護者アンケートの実施
2020年 3月	保護者アンケートを受けての自己評価 保護者に保護者アンケート結果を報告 評価者に保護者アンケート・内部評価を公表、外部関係者評価実施 評価方法:保護者・自己評価を受けての意見聞き取り及びアンケート調査 理事会及び評議員会で内部評価及び外部関係者評価結果を報告
2020年 5月	ホームページに外部関係者評価を掲示

#### 2. 自己評価の結果について

保護者アンケートでは、多くの項目で評価が低下傾向でした。特に「伝える」「聴く」といったコミュニケーションについて、厳しい評価となりました。

園児・保護者の言葉に耳を傾け、意図をくみ取る力を教職員が身につけることが重要と考えます。

また、本園の一番の特色である自然環境を活かした活動と異年齢混合での活動を、より充実させるように努力することも必要と考えます。

#### 3. 外部関係者評価の結果について

全体的に、活動の内容については高い評価を頂きましたが、意思疎通についての成果は大きくありませんでした。今年度、地域からは、園児たちが継続的に地域のお祭りへ参加していることが高く評価されました。

森の中などに出掛けることが中心の幼稚園活動であるため、通常時は幼稚園のある地域との交流が深くありません。子どもの人数が減少傾向にある本地域において、今後も幼稚園として貢献できる活動を行っていく必要があると考えます。

また、保護者との対話の取り方、丁寧な説明の必要性、特色のある幼稚園だからこそ生じる戸惑いのある保護者へのフォローなどについての助言を頂き、今後の課題としました。

#### 4. 来年度への課題

今年度の評価結果を受け、来年度における課題として以下の三点が挙げられる。

- 1 自然体験活動(自然の中での遊び)を通して、子どもに様々な気づきと興味を持ってもらう
- 2 保護者の想いや不安を良く聴いて受け止める、子どもの気持ちや話しを良く聴いて受け止める
- 3 特色のある自然幼児教育活動の目的と教育目標を明確にする

#### 5. 来年度の重点事項

- ① 自然体験を中心においた教育の充実を図る
- ② 園児、保護者及び教職員の個々の考えを大事にし、お互いの意見を尊重しながら、主体的・対話的により良い人間関係の構築を目指す

## 2019年度 こどもの森幼稚園評価シート

2019年度こどもの森幼稚園の学校評価は以下のとおりとなりました。

A:評価できる B:やや評価できる C:やや評価できない D:評価できない

※ 評価段階 : A > B > C > D

項目		評価			
		保護者	自己	関係者	
教育活動について	1	子ども達は、幼稚園を楽しみにしていると評価できる。	A	B+	A
	2	保護者は週のお便りやHP等で、園や子どもの様子がわかっていると評価できる。	B+	B	B+
	3	保護者は参観・懇談会やさまざまな行事などで、子どもの様子や育ちがよく理解できていると評価できる。	B+	B	A
	4	先生は、子どものことについての相談事に適切に対応していると評価できる。	B+	B+	B+
教育方針等について	5	保護者および教員は幼稚園の教育方針を知っていると評価できる。 「いのちを慈しみ いのちを育む」～自然の恵み・手づくりの愛情～	B+	B	A
	6	幼稚園は、様々な自然体験を通して、自然と人の絆を育め合える保育を提供していると評価できる。	A	B	A
	7	今年度、幼稚園は「子どもと先生と親がお互いに対話し認め合い 柔軟に学び育ち合う教育(共育)」活動を行ったと評価できる	B+	B-	B+
保育について	8	先生は、保護者とコミュニケーションを積極的に取りながら保育を行っていると評価できる。	B+	B-	B
	9	子ども達は、元気良く活動していると評価できる。	A	B+	A
	10	幼稚園は、年齢別活動と年齢混合活動を取り入れて、子どもたちに思いやりの心を育てようとしていると評価できる。	A	B+	A
	11	子どもは、幼稚園の絵本などの読み聞かせを楽しみにしていると評価できる。	A	B	A
	12	先生は、子どもを理解し、子どもの性格や長所を把握して指導にあたっていると評価できる。	B	B	A
	13	先生たちは協力して教育活動にあたっていると評価できる。	B+	B	A
外部評価者の意見	<p>外部の者として見えにくい(判断が難しい)ところもあり、そこはBとしました。保育そのものはこれまで通り、よい実践をされていると思います。今年度の保護者さんのアンケート結果を見ると、園で考えていることや大事にしていることが十分伝わっていない感じを受けました。それらを伝える工夫をすることが必要かと思えます。</p> <p>一方で、先生方で相談して新しい取り組みを行っていることもありますが、それらも丁寧に説明していく必要があるでしょう。私としてはポートフォリオの取り組みは写真も活かされていてとても良いと感じています。対話の機会や、丁寧な説明(お便りやブログ、ホームページなどを活用する)を今後も検討して頂き、これからは素敵な保育実践を積み重ねていってください。</p>				
	<p>こどもの森幼稚園には、昨年度に引き続き度々訪問させていただきました。豊かな自然環境の中で、子ども達がのびのびと活動する様子、その活動を支えるために保育内容を再検討し、保護者との調整を図る姿を拝見しております。私の意見としては、こどもの森幼稚園では幼児期の子どもにふさわしい教育活動が展開されていると感じております。</p> <p>今年度、一部の保護者から厳しいご意見を頂戴しているとのこと、幼児教育に対する情熱と高い理念を掲げている子どもの森幼稚園ですから、すべての保護者が100%満足する保育を提供することは難しいと考えます。その中で、園と上手くコミュニケーションが取れていない、保護者同士の関係性に戸惑う家庭があると、大多数の家庭が園の考え方に賛同している中で、より孤立感や孤独感を高めてしまう可能性があることも否めません。園を批判してくる保護者は、強そうに見えても子育てに対する不安を抱え、自信を失っていると考えることが、子育て支援において重要な視点であるとも言えますので、より深いかわりと受容が必要であると考えます。</p> <p>来年度の重点項目②「園児、保護者及び教職員の個々の考えを大事にし、お互いの意見を尊重しながら、主体的・対話的により良い人間関係の構築を目指す」について、今年度の保護者アンケート結果から反省点を見出し、改善を図ろうとする園の姿勢に対しては、園の理念、先生方の教育活動に共感し、信頼を寄せるこどもの森幼稚園の多くの保護者から、必ずや高い評価と賛同を得ることができると確信しております。これまでの歴史の上に、新しい取り組みを積み上げていくことで、さらに進化するこどもの森幼稚園に期待しております。</p>				
	<p>自然に囲まれた環境を活かした保育が一番の魅力だと思います。</p> <p>また、お泊り保育などで発揮される縦割りの活動も素晴らしいです。</p> <p>地域のお祭りでもある火まつり、こども神輿には大勢の園児さんが参加してくれて、地元の子供達と一緒に神輿を担ぎ、地域の方より芋井甚吾を教えてもらい、ステージで踊っている姿はとて良かったです。来年度コロナの影響もあり難しいかもしれませんが、是非、引き続き地域交流を深めて頂きたいと思えます。</p>				
	来年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然体験活動(自然の中での遊び)を通して、子どもに様々な気づきと興味を持ってもらう</li> <li>・保護者の想いや不安を良く聴いて受け止める、子どもの気持ちや話を良く聴いて受け止める</li> <li>・特色のある自然幼児教育活動の目的と教育目標を明確にする</li> </ul>			
<p>来年度の教育活動における重点項目</p> <p>① 自然体験を中心においた教育の充実を図る</p> <p>② 園児、保護者及び教職員の個々の考えを大事にし、お互いの意見を尊重しながら、主体的・対話的により良い人間関係の構築を目指す</p>					